令和7年度 第1回能勢町地域福祉計画推進委員会 議事録

日 時	令和7年7月1日(火) 午前10時00分～12時10分
場 所	能勢町保健福祉センター 集団指導室
出席者	齊藤委員長・乾谷副委員長・黒島委員・瀬川委員・野木委員・松下委員・八木委員・桂委員・北委員・三浦委員・今西委員 【計11名】
欠席者	宇佐美委員 【計1名】
傍聴者	0名
事務局	福祉部 寺内部長 健康づくり課 菊池課長 福祉課 大植課長・小豆島係長・森田主事 【計5名】 社会福祉協議会 森鼻係長 受託事業者 株式会社 HRC コンサルティング(3名)
次 第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第4次能勢町地域福祉計画の進捗状況について (2) 第5次能勢町地域福祉計画策定に係るアンケート調査結果について (3) 第5次能勢町地域福祉計画策定に係る事業所アンケート(案)について (4) 第5次能勢町地域福祉計画の骨子(案)について 4. その他 5. 閉会 	

配布資料

1. 次第
2. 資料 1 能勢町地域福祉計画推進委員会 委員名簿
※差し替え版を本日配付しております。
3. 資料 2 能勢町地域福祉計画推進委員会設置要綱
4. 資料 3 第 4 次 能勢町地域福祉計画の施策の体系図について
5. 資料 4 第 4 次 能勢町地域福祉計画の進捗管理表
6. 資料 5 地域福祉に関するアンケート調査結果(概要)
7. 資料 6 第 5 次能勢町地域福祉計画策定のための福祉関係事業者
・団体アンケート調査(案)
8. 資料 7 能勢町地域福祉計画の体系(案)
9. 参考資料 1 第 4 次 能勢町地域福祉計画の進捗状況報告について
10. 参考資料 2 第 4 次 能勢町地域福祉計画の各施策
11. 当日資料 1-1 能勢町地域福祉に関するアンケート調査結果報告書
12. 当日資料 1-2 能勢町地域福祉に関するアンケート調査結果報告書
別冊(その他・自由記述)
13. 当日資料 2-1 第 5 次能勢町地域福祉計画策定に係る今後のスケジュールについて
14. 当日資料 2-2 第 5 次能勢町地域福祉計画策定のための福祉関係事業者
・団体アンケート調査 依頼先
15. 当日資料 2-3 第 5 次能勢町地域福祉計画策定のための福祉関係事業者
・団体アンケート調査(案)※前回調査項目との比較
16. 社協資料 令和 7 年度 能勢町地域福祉活動計画推進委員会 会議等の予定

【議事要旨】

事務局	<p>皆さん、おはようございます。それでは定刻となりましたので、ただ今より、令和7年度第1回能勢町地域福祉計画推進委員会を開催させていただきます。皆様方におかれましては、ご多用の中、ご出席をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。</p> <p>それでは、会議の開催に当たりまして、委員長よりごあいさつを頂戴したいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>いよいよ、アンケートの結果を今日ご報告いただくことになり、計画づくりの正念場というか、本番に入っていく段階に来ていると思います。委員の皆さんには、釈迦に説法になってしまうのですが、地域福祉計画は、社会福祉法の中で、各市町村が策定することが努力義務規定ということで、力を入れているところでありますし、社協さんにおかれましては、地域福祉活動計画というものを、行政が策定する地域福祉計画よりも前から進めてこられているという、貴重なご経験もあるということです。</p> <p>住民にしてみれば、地域福祉というものは、生活を支える重要な計画になっていきますし、他の様々な福祉計画と一番違うところは、この地域福祉計画というのは、住民の皆さんがどうやって地域づくりに関わっていくかというところが大きく問われるところです。</p> <p>ですから、この計画ができるまでの間に、今日の委員の皆さんはじめ、地域住民の皆さんの力を借りながら、計画を作っていく作業が始まると思います。大変な数か月になるかと思いますが、最後までどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料説明)</p> <p>続きまして、出席者の紹介に移らせていただきたいと思います。出席委員の皆様の中で、今回より交代されている方もおられますので、各自、自己紹介をお願いしたいと思います。</p>
各委員	<p>(自己紹介)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。なお、宇佐美委員につきましては、所用により出席が叶わないことを事前にご連絡をいただいておりますので、併せて報告をさせていただきます。</p> <p>引き続き、事務局側も各自、自己紹介をさせていただきます。</p>
各職員	<p>(自己紹介)</p>

事務局	<p>本日は委員12名のうち11名の出席をいただいておりますので、能勢町地域福祉計画推進委員会設置要綱の第7条第2項の規定により、本日の委員会が有効に成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、本委員会の会議につきましては、同条第4項の規定に基づきまして、公開となっております。</p> <p>それから、本日の会議資料、議事録につきましても、後日ホームページで公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、案件に移らせていただきます。議題の進行につきましては、設置要綱第7条第1項の規定に基づきまして、委員長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは議事に移ってまいります。次第をご覧くださいまして、まずは(1)第4次能勢町地域福祉計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から、第4次計画の進捗管理と評価について、ご報告がありましたけれども、委員の皆様から質問やご意見があれば、是非ともいただきたいと思います。</p> <p>この進捗管理は大事で、計画を作るときには、これまでの計画がどこまで進んで、どこまで進んでいないのかということをきちんと把握した上で、次の計画にその反省点を生かしていく必要があります。これは現在、おそらく行政が中心となって評価をされていると思いますので、今日お集まりの委員の皆様それぞれの障がいの領域、児童の領域、現場で活動されていると思いますので、この評価は甘いのではないのかとか、この評価は厳しいのではないのかというような、率直なご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>資料4の(3)福祉人材の育成についてのところ。2ページのいちばん最後です。</p>
委員長	<p>C評価になっているところですね。コロナの影響があったところでした。</p>
委員	<p>そうです。福祉施設への訪問は私どもがずっと実施してきた事業ですけれども、コロナとなって、青山荘からしばらくお休みくださいという情報が流れましたので、こちらで少し遠慮をしました。資料ではCの評価があって保育所さんがされていたということで、えっと思いました。</p> <p>私たちが青山荘さんや地域の皆様と交流する会がないのか現場に聞きましたら、まだそういうことはお断りの状況ですという返答がありました。少しそこが気になって、また改めて伺っていきいたいなと思っているところです。</p> <p>二つ目です。6ページ(4)地域ぐるみの防災・防犯活動の推進の①緊急</p>

	<p>時・災害時の支援体制づくりのところです。ここもBというところです。私たちの施設でもやってみたのです。そうすると、個別避難計画でぶつかってしまったのは、私たちの施設が地域の避難場所を提供していく資格があるのかどうか。というのは、私たちの施設は峠の上にあります。ですから避難する人が、果たしてそこまで交通手段があるのかという一つの懸念、それから体制は整えているけれども、避難する人のためにはどういった状況がいいのかというところで疑問を感じたのが一つです。いわゆる利用があるのかというところに視点が置かれてしまう。そして個別避難計画では、メニューとして、私たちの施設でしたら、降雨帯とか雨とかいう問題で起こる、土砂崩れとか道路封鎖とか走行できない状況があると来られないだろうと。それから森林火災の場合もアウト。どこかで火災があると動けない。地震となると地域性があるから来られるかなと思う。</p> <p>また、受け皿としての水管理、それから電気関係、自発電気などの対応はできているにもかかわらず、それが有効ではない状況下において、個別避難計画がうまく機能するのかどうかというところで、私たちの施設としては値する状況下に、ここに丸をつけるかどうかいうところで、少し戸惑ったというのがアンケート調査で出てきましたので、そこをもう少し細やかに設ける方法を作っていくと、私たちも有効になるのではないかなと、私自身がそう思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。大事なご指摘をいただいたと思います。</p> <p>事務局の方からアンケートのところで、いろいろな議論が出てくる部分もあるのかと思うのですが、今の委員からのご意見に対して、コメントをお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域における福祉教育の充実ということで、みどり丘幼稚園が青山荘と連携をして、福祉教育をやっていただいていたところでございます。それがコロナのときにできなくなってということでのご意見だったと思います。町としても事業の展開例として、保育所を例示させていただいています。町立の保育所ですので、その辺の把握ができます。</p> <p>ただ、みどり丘幼稚園で活動されていたというところまで町もアンテナが高くなかったので、今後連携をさせていただきながら、共に協力できるところでやっていきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また防災の点です。こちらで記載させていただいているのは、基本的には地域における要支援者の避難行動計画である、個別避難計画ということを中心に記載している部分でございます。委員からは幼稚園としての受入側の体制というところでご発言いただいたと思います。その面についても、地域で避難するところ、その避難の受入先がどう整備していったらいいのかという</p>

	<p>ころは調整をさせていただきながら、能勢町における避難所はこうあるべきというところは、自治防災担当が中心になって対応させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>どこに避難するかとか、例えば車椅子の人がそこまで本当に行けるのかどうかというのは、やはり住んでいる方が一番よくご事情が分かると思いますので、その辺が次の計画の大きな課題になっていくのかなと、今ご意見を伺って感じました。ありがとうございました。</p> <p>他に何かいかがでしょうか。</p>
委員	<p>3ページの(3)ボランティア活動の推進ということで書いていただいています。今までは宿野のふれあいセンターにボランティアセンターがあったのですが、来年度でそこはなくなるということで今この保健福祉センターの中にボランティアセンターの事務所があります。</p> <p>ふれあいセンターでは、高齢者の集まりとか、手芸団体が自分たちの交流を深めたりとか、それから独居高齢者の弁当の調理をしたり、申込みさえすれば、いつでも気軽にみんなが集まれる場所だったんです。</p> <p>それが来年度になると、浄るりシアターや保健福祉センターを使うことになるのでしょうけれども、時間的な問題とか、いろんな意味で制約があると思います。部屋自体も大きなところはあるのでしょうけれども、自由に使えない。ボランティアというのは自分たちの時間で、困っている人たち、特に高齢者が増えているということなので、そういう人たちに気軽にそこで過ごしてもらおう。時間に関係なく、もし1時間としていても、そこで話がはずんだり、ゲームだったら2時間になり、今までは何も言われなかったんです。こういう公的な施設を使わせていただくことによって、ここではボランティア活動のしやすい仕組みづくりというふうに挙げていただいているのですけれども、これが何か縮小されていくのかなという懸念があります。</p> <p>どうしてもボランティアだから、時間どおりにいくというわけにはいかないので、その辺のところをどういうふうに考えておられるのか、お聞きしたいです。</p>
委員長	<p>大事なご指摘ですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。今おっしゃられたとおり、能勢町のふれあいセンターは、今までの活動拠点ということで、ボランティアさんに活動していただいております。本施設につきましては、今年度で公の施設としては廃止することになっております。ですので、今までどおりの施設ではない中ではございますけれども、社会福祉協議会もこの保健福祉センターに移転してきたという中で、先ほどご意見でもありました、施設的な制約は出てくるかもしれませんが、できる限り活動しやすいような体制を取らせていただいて、</p>

	<p>ご意見をいただきながら、ボランティアさんの活動が持続的にできるような環境を、社会福祉協議会さんとボランティア団体さんも含めて考えていきたいと思ひます。忌たんのないご意見等いただきながら、調整をさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。このボランティアセンターの問題も、次の計画の大きな課題になりそうです。またご意見を引き続きいただきたいと思ひます。</p> <p>それと、今のところで気になったのが、ボランティアが活動しやすい仕組みづくりの検討課題のところ、ボランティアの不足が懸念されると書いてあるのですが、ボランティアの不足ではなくて、参加機会かなという気がします。ボランティアが不足するという表現は、あまり地域福祉計画にはなじまないかなという感じがいたしますので、ご検討をお願いします。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>進捗管理表の資料4を事務局から説明いただいたのですが、私の疑問と想っているところを何点か申し上げたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>まず1ページです。一番上段でございます。地域のつながりづくりについて、主要事業ということであいさつ運動が挙げられているわけですが、この内容につきまして説明はなかったのですが、参考資料の1ページの一番上段に、あいさつ運動ということで詳しく記載がございます。また、令和6年度に引き続いて令和7年度も実施していきますと、こういう内容で挙がっています。あいさつ運動について申し上げたいのが、これは能勢ささゆり学園の登下校、あるいは地域のスクールバスのバス停、停留所等々について、地域の見守りの保護者等が児童生徒に関わって、あいさつをしていきたいと思います。週1回あいさつの日を設けております。あいさつ運動がこの本福祉計画で、あえて取り組んで挙げないといけない問題なのかという辺りが、少々納得いかない点でございます。</p> <p>本来、あいさつは家庭教育・学校教育含めて、むしろ学校を含めたPTA活動の事業の一環ではないかなという感じもしております。できたらこの福祉計画で合致するかどうかという辺りを教えていただきたい、あるいは検討していただきたいと思ひます。</p> <p>それから、同じくこの資料4の3ページの一番上段でございます。右の列の検討課題等の一番上に、民生委員のことで自然と目に飛び込んできた記述なのですが、民生委員の資質向上に加えて負担軽減にも努めるとあります。負担軽減に努めていただいたら大変ありがたいわけなのですが、もし具体的な内容をお持ちでしたら教えていただきたいということをお願いします。</p> <p>あと二つございます。同じく資料4の1ページの一番下の真ん中の展開例</p>

	<p>で、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操、それから一番下段に能勢町健康づくり支援事業(旧・能勢町健康長寿事業)、いわゆる「のせけん」という血圧測定の事業です。今その二つが挙がっておりますが、詳しい内容については、参考資料 2 に挙がっておりまして、いきいき体操については 11 ページに詳しく内容が挙がっております。</p> <p>ここで何が言いたいかと言いますと、新規加入者がなかなか思うように集まらない。まして高齢者になってきたらリタイアされている。一方で、受け入れたい人に加入していただけない。そういう事情がどこの地区でもあると思います。私どもの地区でも、おおむねこれに合致しており、細々とやっているというような状態です。地区と行政が共に何か知恵を絞ってできないか、新規加入者に向けて、何か魅力ある呼びかけを行政と共にしていきたい、あるいはできないかと考えております。この評価を盛り込んだ呼びかけ、あるいは体操に参加すればこんな楽しいことがありますよ、そういう辺りを、地域と行政が一体となって取り組んでいかないと、新規加入が思うように入っていない。私どもの地域でも、年 1 回ではございますが、パンフレットを作って各戸配布したり、あるいは出会ったときには呼びかけをしているところですが、思うように入っていないという現状でございます。ですから、地域と行政が一体となった何か仕掛けができないかなということで、ご検討いただければと思っております。</p> <p>それからもう一つ、能勢町健康長寿事業(のせけん)、参考資料 2 の 13 ページに書いております。もともと血圧測定の継続について、モチベーションを保っていかけているかどうかという辺りで、登録はあるけれど、実際に測っておられる方がどの程度かということもあるわけですが、この 13 ページで申し上げたいのが、一番下段に予算額で、令和 7 年度 665 万円と多額の予算が計上されております。令和 6 年度決算はゼロということで、今年度である 7 年度に 660 万も一体何をどういうふうにして測っておられるのか、お聞きしたい。測定したら手帳を事務局本部に送るわけですが、そうすると測定結果が書いて返送されてくる、そういうものでございます。結果を送ってきただくときに、今後継続的に測っていくモチベーションアップのために、啓発グッズでも返送のときに入れてもらったら、頑張れるのではないかなという気もしておるわけなんですけど、そういう面も含めてお答えいただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>四点ご質問いただいた最初の二点について、ご説明させていただきます。</p> <p>一点目のあいさつ運動でございますが、ご指摘いただいた内容が資料 4 の 1 ページ目の一番上の基本目標 1 の(1)①になるかと思っております。こちらのあいさつ運動は、展開例として記載しているのですけれども、今回の現行計画で、地域のつながりづくりに関して、つながっていくためには、あいさつや</p>

	<p>声かけ等が重要ではないかと考えて、計画の立案をさせていただいたところ でございます。あいさつ運動は、先ほど委員からおっしゃっていただいたとおり、各地域のスクールバスの停留所で、地域住民の方が子どもたちにあいさつをするということで、それを通して地域のつながりづくりにつながるというところ で載せさせていただきました。当然ながらこちらの事業につきましては、教育委員会が管轄しているというところで、そういう意味合いでは、教育というのはそのとおりだと考えておりますが、今申し上げたとおり、福祉にもつながるのではないかとということで、記載させていただいたところです。</p> <p>二点目の民生委員・児童委員への負担軽減でございます。こちらにつきましては、能勢町でも以前から重要と考えておりまして、負担軽減の取組といたしまして、令和5年度から能勢町独自の取組として、民生委員の皆様 に活動費をお渡しさせていただいているところです。</p> <p>また、今後の取組として、具体的などころで言いますと、紙ベースで報告が増えているのですが、オンラインで報告をしていただくような仕組みを作ること はできないかといったことや、現状の民生委員児童委員協議会の事業活動をご検討いただく中で、事務局も一緒に中に入れていただいて、検討させていただければと思っております。</p> <p>最初の二点につきましては以上でございます。</p>
事務局	<p>後半の二点について説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、いきいき百歳体操についてのご質問だったと思っております。いきいき百歳体操は皆様ご存じのとおり、平成27年度から始まりまして、町内ほぼ全地区で週1回、取組をいただいています。もう9年ぐらい経ってきています。参加者の方が一番多いときで500名を超える方がいらっしゃったけれども、最近 は350名ぐらいになっていると思っております。これは、年に1回体力測定をするのですけれども、その体力測定に参加された方の数を数えています。実際のところは、測定会は遠慮したいという高齢者の方もいらっしゃるので、もう少し多いかも分かりません。ただ一番多いときから比べると、委員がおっしゃったように減ってきているような状況にありまして、これをどうしていったらいいかというのは、一つの行政の課題としては認識をしているところ です。</p> <p>そういったこともありまして、二点目の能勢町健康づくり支援事業ということ を令和7年度から取組を始めているところです。この能勢町の健康づくり支援事業というのは、もともと大阪大学とオムロンヘルスケア社と能勢町が一つになって、地域で家庭血圧をずっと毎朝毎晩測り続けることで、例えば認知症ですとか、他のいわゆる老年症候群というものの予防につながるかどうかを研究するという ことで、令和2年度から令和6年度までの5年間の研究</p>

として行っているものです。途中で新型コロナの話も出てきたりしましたので、研究自体が延びておりまして、まだ測定会が令和7年度も続いているのですけれども、この秋口ぐらいで測定会としては一旦終了になるところです。

今まで研究として行ってきた、この「のせけん」というものを、令和7年度以降は町が行う保健事業として、どういうふうに関展させていくかということいろいろ考えまして、健康づくり支援事業ということで立ち上げています。この中には、引き続き家庭血圧測定の継続、若しくは測っていただいた方へのフィードバックというのもこれまでどおり行っていきたいと思っています。あと歯と口腔の健康づくりの支援。それから、健康出前講座みたいなことも、この事業の中にはメニューとして入れています。

この健康出前講座を大阪大学と一緒に取り組んでいきたいと思っているのですけれども、これは地域で集まる人がだんだん減ってきているところの、一つの解決策につなげることはできないかと考えています。具体的には、例えば血圧の話でもいいですし、歯と口腔の話でもいいですし、それ以外の食生活とか健康についての話でもいいです。介護保険の話でも承ります。そういういろんなメニューを用意して、実際に地域からオファーがありましたら、それについて健康講話に何うようにしています。

この3月にも、ある3地区の合同会議のときに、歯と健康についての話をしてくれ、というようなことで依頼がありましたので、町の職員、専門職が出向いて講話をしたりもしています。今度8月にも、あるボランティア団体さんから話をしてほしいということで依頼があります。こういったことをどんどんおっしゃっていただければ、地区の公民館とか、それ以外の団体さんでも全然構いませんので、専門職が伺って、できるだけおもしろおかしく話をしたいと考えています。そのようなところから、地域の公民館とかに行けば、何か楽しいことがあるのではないかと、体操以外にもそういう楽しいことがあるのではないかと、少しでも地域に出向いていただければいいと思っています。健康は全ての方に共通する話題になると思っていますので、まずここを切り口にして、いきいき百歳体操にもつながっていけばいいなということで、いきいき百歳体操もそうですし、家庭血圧測定も一体的に進めていきたいということで、この健康づくり支援事業を行っていきたいと思っています。

最後に予算の話が出たのですけれども、確かに単年度で600万以上の金額だけ見ると高いように思われるのですが、これまでオムロンと大阪大学と能勢町で行ってきた研究では、5年で1億円のお金がかかっています。そういったことからすると、それと同じことはできないのですけれども、引き続き大阪大学さんという学術機関であり、教育機関であるところと連携をしながら、大

	<p>学と行政がつながりながら、新しい形で何か取組を、住民さんの福祉の増進・健康増進のためにできることがないかということを探しながら、これからもやっていきたいと思います。結果はもちろん住民さんにも知っていただきたいと思っていますので、引き続きご理解をいただきたいと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。今、委員からのご指摘の件というのはすごく重要だと思っていて、先ほどあいさつ運動の件でも、のせけんの件でも、それをしたことによって何が起こったのかという話がないところに、課題があると思います。</p> <p>例えばあいさつをしたのならば、その結果どういう良いことがあったのかというところを、地域福祉計画は言っていかなければいけませんし、評価をしていかなければいけません。あいさつをすることによって、地域の人たちが子どもたちの顔を把握できるようになったとか、あいさつをするようになりましたではなくて、それによって地域にどんな効果をもたらされたのかというところまで説明していかなければいけないし、そういう役割があります。</p> <p>のせけんの話もそうですが、先ほどモチベーションの話がありましたけれども、おそらく今の状態だと、血圧を測っているだけの状態になっているのかなという気がします。それによって、お隣の川西市とか箕面市とかと比べると、能勢町の人たちはこんなに健康が保てているのですよとか、これをやることによって何が良かったのかということをやっと説明することが、一番モチベーションにつながるのではないかなと思います。</p> <p>だから、血圧測定に来た人が何人ですとか、あいさつした子どもが何人ですというアウトプットだけではなくて、アウトカムの方の、それによってどんな効果があったのかということについても、次の計画では考えていくようにしていきたいなというふうに、今やりとりを聞いて思わせていただきました。</p> <p>ということで、今出していただいたご意見の中でも、それぞれの現場からの意見はすごくいろんな情報が含まれていて、これはこの計画策定のプロセスの中で、住民の方々に参加していただいて、進捗管理表について現場からの、生活者の視点からの意見を議論するような機会ができたらいいなと思いました。</p> <p>その一つがアンケート調査になると思うのですが、アンケート調査の結果も伺いながら、またこの第4期の計画がどう評価できるのかという議論を続けていきたいと思います。まだまだご意見あると思いますが、アンケートの結果を踏まえて、更に皆さんのご意見を伺いたいと思います。</p> <p>では事務局の方から、アンケート調査結果について説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料説明)</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。この3月に大きな調査を行っていただいたわけですが、全体的にご報告をいただきました。回答者の半数近くが70歳以上ということで、何となく高齢者調査的な感じにもなっていますけれども、町全体の人口構成も、そういうふうになくなってきているのかなというところが反映されているような気もいたします。</p> <p>先ほどの4次計画を受けて、アンケート調査はそれに対しての住民の方々の反応が一部あるかなというふうに思いますけれども、先ほどの進捗管理表、資料4に戻っていただいても結構ですので、アンケート調査結果から、何かお感じになったことがございましたら、ご意見いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>委員があいさつ運動とか、いきいき百歳体操のことを言われましたが、よく理解しました。</p> <p>その結果、アウトカムとして出てきたもの、主に私たちの福祉というのは啓発関係が多いと思っています。結果が出てくるまで時間がかかる。アンケートはやっているけど、70歳以上の高齢者。その中で何を感じるのかと思うと、一人ひとり個人のプライド。ここがなかなか福祉との有効性が生まれてこない。だから私は表出できたものは全て受け入れます。身体上の問題とか、表現されたもの。内部に入っているもの、その精神的なもの、心理的なものになると、事務局がおっしゃったように、予算問題もあろうかと思えますけれども、阪大との研究。これは心理的な話も出てくると思います。</p> <p>そうすると、このあいさつ運動から始まる、小さなことであるけれども非常に大きな問題。メリットとして出てくるものは、核家族になって情報が入らない部分、これがどこかであいさつすることによって、お互いの交流が深まってくる。</p> <p>一方、デメリットというのは、交通の、例えば私たちの施設ではスクールバスが6台ぐらい走っているわけなのですが、停留所でしゃべりすぎと地域からしかられることがあります。お母さんたちは自分の子育ての情報を出しています。その情報を処理する時間がない。今の皆さん働きになられるわけですから。SNS時代であると同時に、お母さんは停留所を利用して、少しの情報でも発信しようという状況も見受けられる。これが、メリット・デメリットがあるわけですが、そこを上手に私たちも、教育指導していかないといけない。</p> <p>だから、あいさつは基本的な人間の感覚的なもの、こんにちはこのコミュニケーション能力。そういうところから発して、教育委員会の問題ではないだろうかという投げかけは、確かに私もそう思いますが、それ以前の問題として、人間の生活の中で必要なお互いの心の行き交い、これが非常に大事な</p>

	<p>あいさつ運動になっている。それは啓発運動として、子どもたちと大人とのつながりが縦につながっていく。ですから、そこにおけるアウトカムが非常に大きく出てくるのではないかと思うので、大事な質問とお答えだったと思います。</p> <p>二つ目に私は非常に辺りなところに住んでいます。私は本当にすごいところに住んだと思っております。交流がない、バスも通らない、人も通らない、若者がいなくなってきた。高齢化社会も、見るところ見るところ男性がいなくなってきた、女性の姿が多くなってきて、この現象を見ながら、皆さんが何しているのかなと思ったら、うれしそうにいきいき百歳体操に行くんです。私はその人たちの集まりを見ると、今日は百歳体操だと、そこを見て、帰りがけにまた見ると、ゆっくりにごやかに二人で歩いて、散歩しながら帰ってくる。</p> <p>この姿を見たときに、オムロンヘルスケア社と大阪大学とのかけ合いも、血圧の問題、これも非常に健康を意識し、認知症をなくしていこうという取組です。今日は調子悪いぞと思ったら、血圧が上がっているのではないか。酸素を見る、90何%あるから大丈夫だ。この過程によりデータが発揮できる。それが大阪大学との関係、オムロンヘルスケア社との関係で、実質的な活動になっているのではないか。</p> <p>一方、私は地域を通して見たことは、自分たちで自発的に運動の機会をいただいた、そこから発して、コミュニケーション能力を地域が発揮し出した。それが少数であるけれども、みんなの喜びになっている、これを見受けることができました。私は自分の仕事がなかったら、きっとその場所に行って、自分が足を上げたり、体操したりしたと思います。そういうところで他を見て、うらやましく思ったというのが私の思い、感想です。</p> <p>アウトカムについて、よく分かりました。今までいきいき百歳体操を実は批判的に見ていました。ところが違う。これは今日いろんな情報を得て、反省しました。なので、そういうこともお伝えしておきたいと思います。本当にありがとうございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今、全体を見る、子どものことからお年寄りのことまで、総合的に見ていくことの大事さをおっしゃられたと思います。そこが地域福祉計画の醍醐味でもあるかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>他にご意見ありませんでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>先ほどボランティアセンターの話がありましたけれど、3ページのところです。住んでいる地域の意識や行動について、関心があるが参加する機会がないという割合が増加しているということで、何かやりたいという人たちは増えているのかと、ちょっとうれしい結果を見ましたが、その辺りいかがでしょうか。</p>

委員	<p>そういうことも増えるということはいいいことです。でも、なかなかその一步は踏み出せないのですよね。それと、場所的な問題です。いきいき百歳体操もそうだと思うのですが、行ける人は行けるのです。能勢町は交通機関が少ないから、行けない人をどうするかということが、これからの町の課題。と言って、車を持っている人は乗せていってあげようと思うけど、今度はそれが事故とかそういうのにかかってくる。いつも思うのですが、能勢町はいろんなことをされているけれども、本当に自分で動けない人をどうするかということも、もう少し力を入れていただいたらうれしい。</p> <p>私自身、地の人間ではないので地域の知識もないし、今一人暮らしをしているので、以前の仕事仲間、今の仕事仲間が自分の唯一の知り合いです。また仕事ばかりしていたので、地域等の関わりもないので、自分自身の反省なのでしょうけれども、本当に動けなくなったときにどうするか、どう地域で支えるかという。自分で動けるときは、みんなボランティアでやっておられるところでも、顔を出す人はどこでも行っておられます。自分で運転できるし、興味もあるのでしょけれど。それが今、免許の返納をされたときに、その人たちをどう助け合うのかというのは、ずっと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。小さい単位での活動機会という、移動の問題も含めて、そういったところも次の計画の課題になってくるのかなというのが、アンケート調査からも見えてきたりします。</p>
委員	<p>動けない人という、キーワードをおっしゃいましたね。いずれ私たちも動けなくなる、これを頭に入れながら、どう福祉が高齢社会を作っていくかという、非常に大事な点です。委員はいつもこども食堂の話をしてくれます。これは小さい子どもから大人にまでも響いていかせなければ。現場で活動する人としての情報を聞かせてくださいますか。</p>
委員長	<p>今、委員へご指名がありました、一言いかがでしょうか。</p>
委員	<p>こども食堂は、本当にいい場所だと思うのですが、来られる人と来られない人がいます。でも、私は軽自動車に乗っているから、私を入れて4人までは連れていってあげようと言っています。やっぱり来られない人は大変だと思います。</p> <p>それで、あいさつ運動なのですが、うちの地域で4人います。その子たちで、いつも泣きながら来る子がいて。どうして泣くのと聞いたら、学校へ行くのが嫌だとか言うんです。じゃあ今日はミカンの花が咲いているから、これを見ようねとか、アサガオの花が咲いたからこれを見ようねと言ったら、「おばちゃん、どこに咲いているの?」と言って喜んで出てきてくれる。それを1年間することで、その子にとっては良い経験になると思います。</p>
委員長	<p>そういう話を集めていくと、あいさつ活動が地域で行われることの意味と</p>

	<p>いうものが伝わっていると思わせていただきました。</p> <p>どうでしょうか。ご意見まだの方、どなたかありませんか。よろしいですか。</p>
委員	<p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず資料5の、地域福祉に関するアンケート調査結果概要の9ページです。ご意見をたくさんいただいて、ありがたいなと思っています。前回は似たような感じでございまして、結論から申しますと、周知徹底、また啓発を多く、もっともっとしなければならないということと、困ったら社協さんに相談してごらん、相談しやすいよという場所づくりをしないといけないというのが結論です。この資料で、結果で書いてありますように、ヘルパーさんとか、シルバー人材センターとか、フェスタというイベント参加であったりとか、給食サービスを使われたりとか、会食に参加されたりという、参加・利用しやすいサービスがパーセントを占めております。相談は、地域柄といいますか、本当のぎりぎりまで相談に来られない。来られたときには明日施設に入所しないといけないとか、法律相談に弁護士さんのところに行かないといけないとか、ぎりぎりになって来られることが多くなってきています。いわゆる、専門機関に頼られる方々が増えてきているのかなと思います。</p> <p>その第一歩で、コミュニティソーシャルワーカーについても、社協の相談員についても、サービスにつなぐ役割をしていますので、窓口に来ていただく、社協の入口を一步簡単に入っていただける、又は電話していただけるというところを周知していかなければならないし、相談に来てくださったらきっちりつなぐ、つなぐという役割をしていく必要があります。そのようなところで、コミュニティソーシャルワーカーとは何かであったり、社協というのは、もともと相談機関でありまして、地域の調整役でもあります。ボランティアさんの支援、地域活動への支援というところの機関であります。最後にもう1回戻りますが、周知啓発を図っていく。</p> <p>先ほどもございましたように、地域の活動に参加をしたいけれども、交通手段がない。社協の送迎事業をやっているのですが、それは事業者としてやっています、タクシーメーターを使っています。そうすると、ワンメーター320円です。それでも活用していただく方はいらっしゃいますけれども、距離が延びたらものすごく高くなります。福祉団体でありながら、事業者でもあり、利用される方には申し訳ないなと思いつつ、事業を展開しています。その中でもできるだけ利用料を取らないように、待ち時間が発生しないように、利用されたらその待ち時間は一旦事務所に帰って、またお迎えに上がるということもやっています。</p> <p>ボランティアさん、地域の方々が活動しやすい場所、また参加しやすい体制づくりというものが、民間、地域の住民さん、社協、行政、どのような形で役</p>

	<p>割分担をしていく必要があるのかというのが、もしかしたら地域福祉計画・活動計画であるのかなと思います。この9ページの意見を受けて、頑張ってもらいますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。確かにこの9ページも、次の課題の次の計画で、本当に要になるところだなというふうに思っていたところで、ご発言ありがとうございました。それから、コミュニティソーシャルワーカーさんの認知度もまだ20%というところで、この辺りも次の計画の課題になってくるかなというふうに思います。</p> <p>では、時間のこともありますので、また戻ってご意見いただいても構いませんので、先に進みたいと思います。</p> <p>次は、事業者さんを対象にアンケートをするというお話です。では事務局からお願いいたします。</p>
受託事業者	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。これを、当日資料の2-2にありますけれども、関係の事業者さんに配布をして、ご回答いただくということになるわけですね。今日お集まりの皆さんの関係の施設さんがあると思います。</p> <p>日程も含めて伺ってから、また総合的にご意見・ご質問いただこうと思います。続いて、事務局のほうから、5次計画の骨子案についてと、あとスケジュールについても一緒にご説明いただいでよろしいでしょうか。</p>
事務局	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。今事務局の方から、今年度の進め方、スケジュールについてのご説明と、第5次の計画についての体系案についてご説明がありました。</p> <p>今日は議題が盛りだくさんで時間が足りなくなってしまったのですけれども、本当は体系案のところを議論したいところではありますけれども、おそらくこれからまた、事業者アンケート調査が戻ってきたり、それから住民の方々の懇談会みたいなものを行う中で詰めていくところになると思います。そのときにいろいろご意見を出していただきたいなと思います。</p> <p>それから、事業者アンケートの方ですが、今日お集まりの皆さんのところにもこのアンケートが配られることになると思います。なので、またお目通しいただいて、お気付きの点がありましたら、事務局にご連絡をいただけたらと思います。</p> <p>また、体系のところですが、能勢町の課題、今日もいろいろご意見いただきました。そういったものを盛り込んでいくのですけれども、大きな体系としては4次計画を継続するという形で、国の動向・大阪府の動向を踏まえながら、能勢町らしい計画を作っていこうという、そういうご説明だったと思いま</p>

	<p>す。大筋そういうような方向性でよろしいでしょうか。その作業の中で、今日の皆さんのご意見は十分に生かしていけると思います。</p> <p>それでは最後に社協からよろしくお願いいたします。</p>
社会福祉協議会	(資料説明)
委員長	<p>ありがとうございました。社協さんの作られる活動計画も本当に重要な計画ですので、また皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>お疲れ様でした。ありがとうございました。本日の議題につきまして、慎重なるご審議をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>ではここで、副委員長より、閉会のあいさつを頂戴したく存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
副委員長	<p>本日は、推進委員会、長時間のご審議ありがとうございました。</p> <p>第4次計画は、本年度で計画を終えますが、令和8年度から第5次計画となることから、本年度につきましては、その策定に向けて協議になってまいります。本日は第4次計画の進捗状況、また、第5次計画に関わるアンケート結果を中心に協議をいただきました。アンケートでは6割の方が、福祉に関心があるということでありました。本計画が地域福祉の指針となり、住民の幸福感にどうつながるか、この計画の重要なところであると思っております。</p> <p>今後も本委員会が活発な協議の場となりますようお願いを申し上げて、閉会のあいさつといたします。本日はお疲れ様でした。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。そうしましたら、本日の議題が多岐にわたり、資料も多くて恐縮でございました。</p> <p>次回、委員会で提示する第5次の計画の素案につきまして、皆様からいただいたご意見を可能な限り反映させていきたいと思っておりますので、本日の議題、また配布資料につきまして、委員の皆さん、お気づきの点、また今日、発言できなかった点がございましたら、7月末をめどに、事務局までご意見を頂戴できればと思っておりますので、あわせてお願いいたします。</p> <p>では、本日の会議はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>